

5 スポーツの振興

施策の方針

スポーツに親しむ環境づくりを推進します！

市民の健康・体力づくりや市民相互の豊かなコミュニケーションづくりのために、市民の誰もが、いつでも、どこでも、気軽に、運動・スポーツ活動に親しめる環境が必要です。また近年、軽スポーツやウォーキング活動の普及など、その活動の場は様々で、ニーズの多様化が進んでおり、このような市民の運動ニーズを的確に捉えるとともに、その快適な活動の場を提供することが求められています。

本市は、合併前の旧町から引き継がれた多くの社会体育施設を設置していますが、その多くは老朽化が進み、その対応・改善が喫緊の課題となっています。

このような中、既存の社会体育施設を適切に維持管理しながら、快適なスポーツ活動の場を提供することで、市民のスポーツ活動を支援するとともに、従来の体育施設内での活動にとらわれない野外での活動や室内体操など、幅広い活動の場を視野に入れた運動・スポーツ活動の推進を図っていかねばなりません。


また、運動・スポーツ活動の推進のためには、活動施設の提供などのハード面での支援ばかりではなく、活動する仲間を増やし、結ぶなどのソフト面の環境づくりも重要となります。個々に活動しているスポーツ団体や運動グループが、より活発な活動を行えるよう、情報発信や情報交換、組織化などの支援を行い、他の団体との交流や新規のメンバーを獲得するなど、既存の団体等の活動を活性化させることも、今後の大きな推進策として進めなければなりません。




【体力年齢測定会】




【雲仙アヅマクロス大会】

主要施策 1	運動・スポーツ活動の日常化の推進																									
現状	<p>本市では、総合型地域スポーツクラブとして発足した「がまだすスポーツクラブ」のほか、本市発祥の軽スポーツ「雲仙アヅマクロス」の普及推進を行う「雲仙アヅマクロス協会」を含む「雲仙市レクリエーション協会」といった軽スポーツを推進する組織があり、活発に活動しています。</p> <p>また、グラウンドゴルフなどの軽スポーツ活動のほか、ウォーキングや健康体操など、様々な運動を実施している個人・団体があります。</p>																									
課題・今後の方向性	<p>市民のスポーツに関するニーズは、競技スポーツからウォーキングなどのトレーニング、軽スポーツによるレクリエーション活動など、その活動は多様化しており、誰もが、いつでも、どこでも、気軽に、運動・スポーツ活動に親しめる環境が求められています。</p> <p>今後は、現在活動している軽スポーツ団体の組織力向上のための育成支援とともに、個人や小グループで活動するウォーキングや健康体操などのサークル等の情報収集に努め、活動の幅（輪）を広げられるような活性化のための支援を行う必要があります。さらに、運動や軽スポーツ等の重要性や必要性の啓発活動を行いながら、多くの市民に対し、継続的な運動へ誘導するためのスポーツ教室等の実施など、機会の提供を行う必要があります。</p>																									
今後の主な取組	<p>【軽スポーツ団体の支援】 「雲仙市レクリエーション協会」及び「がまだすスポーツクラブ」の活動を指導・支援するとともに、組織の拡充・活動の充実を目指します。</p> <p>【スポーツ教室等の実施】 市民に対し、運動機会の提供・紹介のための軽スポーツ等の教室を実施します。また、「泳げない子のための水泳教室」など、市民要望の多いスポーツ教室を継続的に実施します。</p> <p>【ラジオ体操の推進】 国体の開催とともに推進してきた「長崎県民体操がんばらば体操（*67）」と併せ、いつでも・どこでも・一人でも、気軽にできる「ラジオ体操」の実施を推進し、市民の健康意識・運動意識の高揚に努めます。</p>																									
資料等	<p>【市レクリエーション協会の団体数等】</p> <table border="1" data-bbox="384 1554 995 1756"> <thead> <tr> <th></th> <th>構成団体数</th> <th>構成人数</th> <th>助成額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>3団体</td> <td>111人</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>3団体</td> <td>205人</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3団体</td> <td>219人</td> <td>475</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3団体</td> <td>188人</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3団体</td> <td>179人</td> <td>429</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H23は、綱引き協会が脱退し、雲仙アヅマクロス協会が加盟した。</p>		構成団体数	構成人数	助成額（千円）	H22	3団体	111人	500	H23	3団体	205人	500	H24	3団体	219人	475	H25	3団体	188人	451	H26	3団体	179人	429	 <p>【市民ウォーキング大会】</p>
	構成団体数	構成人数	助成額（千円）																							
H22	3団体	111人	500																							
H23	3団体	205人	500																							
H24	3団体	219人	475																							
H25	3団体	188人	451																							
H26	3団体	179人	429																							
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ人口増加のための教室・大会を毎年実施し、成人の週一回以上のスポーツ実施率を高めます。 【※長崎県目標（H32）65%】 ・スポーツ施設の利用者数の増大を目指します。 【年間利用者数（H28・総合計画目標）382,000人→（H32）385,000人】 																									

主要施策 2	スポーツの競技力向上																					
現 状	<p>雲仙市体育協会は、補助金を受けながらも平成21年度から独立した外郭団体として、自主的に市民スポーツの推進のための事業に取り組んでおり、協会の組織力向上や会員の技術力向上に努めるとともに、市民への競技スポーツの普及・育成に取り組んでいます。</p> <p>しかしながら、その構成員数は減少傾向にあり、21競技団体の中には、年間の活動状況や活動予算における自主財源の確保に苦慮する競技団体もあります。</p>																					
課 題 ・ 今 後 の 方 向 性	<p>雲仙市体育協会の各競技団体は、年間を通してスポーツ教室の開催によるジュニアスポーツの競技力向上や競技人口の増大、市内競技会等の開催による一般市民への競技の普及活動などを行うとともに、毎年、市民スポーツの祭典である雲仙市民スポーツ大会の運営を行っています。</p> <p>今後も、市民スポーツの競技力向上のために、本協会の組織力や技術力を有効に活用し、連携・協力して市民スポーツの推進と競技力向上を図る必要があります、十分な支援・協力体制を構築していかなければなりません。また、他自治体の先駆的な運営体制として、自主運営を行う本協会に対し、運営費補助等の必要な経済支援を行いながら、組織の充実（維持・強化）を一層図る必要があります。</p>																					
今 後 の 主 な 取 組	<p>【体育協会の運営支援】</p> <p>市民スポーツ大会をはじめとする市民の各種競技会の開催、ジュニアスポーツの競技力向上や競技人口の拡大のための講習会や教室を行う雲仙市体育協会の活動を支援するとともに、必要に応じ事務局及び各構成団体の事務的な指導を行います。</p> <p>また、優秀な選手を県民体育大会へ派遣するため、市体育協会を通して出場に係る経費の一部を助成します。</p> <p>【補助金等による経済的支援】</p> <p>優秀な成績で上位大会へ出場する選手や団体に対し、経費の一部を助成し、負担の軽減と向上意欲の高揚を図ります。</p>																					
資 料 等	<p>【大会出場激励費（*68）の交付実績】</p> <table border="1" data-bbox="376 1632 986 1874"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付件数</th> <th>交付人数</th> <th>交付額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>76件</td> <td>123人</td> <td>1,805</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>69件</td> <td>139人</td> <td>1,810</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>82件</td> <td>158人</td> <td>2,180</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>84件</td> <td>181人</td> <td>2,150</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高校生への交付分を含む</p>		交付件数	交付人数	交付額（千円）	H23	76件	123人	1,805	H24	69件	139人	1,810	H25	82件	158人	2,180	H26	84件	181人	2,150	 <p>【市民スポーツ大会】</p>
	交付件数	交付人数	交付額（千円）																			
H23	76件	123人	1,805																			
H24	69件	139人	1,810																			
H25	82件	158人	2,180																			
H26	84件	181人	2,150																			
達 成 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上を目指す雲仙市体育協会の活動を支援します。 ・優秀選手の育成のための奨励事業を行います。 																					

主要施策 3		ジュニアスポーツの推進																																																												
現状	<p>本市では、50団体を超える数の小学生のスポーツクラブが、また、市内中学校の部活動クラブが、年間を通して各地域で活動しています。これらの団体は、雲仙市小学生クラブ活動振興会及び部活動振興会に加入しており、各々の活動における練習時間等のルール設定や指導者研修会を開催するなどして、小中学生の健全なスポーツ活動が実施されるよう活動しています。</p>																																																													
今後の方向性 課題・	<p>近年の少子化傾向に伴って児童・生徒数が減少する中、各クラブの構成員が減少し、組織活動・運営ができなくなるクラブが発生しています。</p> <p>更には、ニーズの多様化、技術力志向などから、校区や地域を越えたクラブ組織もあり、使用施設や活動時間などの課題も発生しています。</p> <p>また、競技力向上を目指すあまりに、長時間又は過度の練習を行うような活動実態が報告されることもあり、子どもたちが行う健全なスポーツ活動としてのあり方について、十分な検討と指導が必要となります。</p>																																																													
今後の主な取組	<p>【振興会等団体に対する活動・運営支援】</p> <p>少年期における健康な身体づくりと、将来のスポーツ活動への意欲を育むため、適切な競技指導とクラブ運営を行う小学生クラブ活動振興会及び部活動振興会に対し、運営のための経費の一部を助成して、その活動を支援します。</p> <p>【指導者・保護者等の研修会の実施】</p> <p>ジュニアスポーツの指導者・保護者等を対象に、指導のためのスポーツ医学やメンタルトレーニング等の研修会を実施するとともに、毎日の練習時間や休日の設定などを徹底し、指導者・保護者等とともに、子どもたちの適切な活動環境の整備に努めます。</p> <p>【大会出場等の補助】</p> <p>優秀な成績で上位大会へ出場する選手や団体に対し、経費の一部を助成し、負担の軽減と向上意欲の高揚を図ります。</p>																																																													
資料等	<p>【市内ジュニアスポーツの団体数及び大会等出場時の助成等の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学生クラブ活動振興会 (小学生)</th> <th colspan="2">部活動振興会 (中学生)</th> <th colspan="3">小中学生スポーツ大会出場助成事業 (*69) ※県大会以上の大会出場に対し助成</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>構成部員</th> <th>団体数</th> <th>構成部員</th> <th>交付件数</th> <th>対象人数</th> <th>交付額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>55団体</td> <td>913人</td> <td>76団体</td> <td>1,328人</td> <td>60件</td> <td>589人</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>58団体</td> <td>885人</td> <td>76団体</td> <td>1,310人</td> <td>55件</td> <td>533人</td> <td>2,958</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>57団体</td> <td>902人</td> <td>76団体</td> <td>1,291人</td> <td>46件</td> <td>477人</td> <td>3,770</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>53団体</td> <td>848人</td> <td>72団体</td> <td>1,189人</td> <td>57件</td> <td>605人</td> <td>3,204</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>52団体</td> <td>822人</td> <td>73団体</td> <td>1,149人</td> <td>48件</td> <td>564人</td> <td>2,644</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表中の構成部員は、小・中学生の所属部員数を記載した。また、中学生は、文化部の所属部員も含む。</p>								小学生クラブ活動振興会 (小学生)		部活動振興会 (中学生)		小中学生スポーツ大会出場助成事業 (*69) ※県大会以上の大会出場に対し助成			団体数	構成部員	団体数	構成部員	交付件数	対象人数	交付額 (千円)	H22	55団体	913人	76団体	1,328人	60件	589人	2,300	H23	58団体	885人	76団体	1,310人	55件	533人	2,958	H24	57団体	902人	76団体	1,291人	46件	477人	3,770	H25	53団体	848人	72団体	1,189人	57件	605人	3,204	H26	52団体	822人	73団体	1,149人	48件	564人	2,644
	小学生クラブ活動振興会 (小学生)		部活動振興会 (中学生)		小中学生スポーツ大会出場助成事業 (*69) ※県大会以上の大会出場に対し助成																																																									
	団体数	構成部員	団体数	構成部員	交付件数	対象人数	交付額 (千円)																																																							
H22	55団体	913人	76団体	1,328人	60件	589人	2,300																																																							
H23	58団体	885人	76団体	1,310人	55件	533人	2,958																																																							
H24	57団体	902人	76団体	1,291人	46件	477人	3,770																																																							
H25	53団体	848人	72団体	1,189人	57件	605人	3,204																																																							
H26	52団体	822人	73団体	1,149人	48件	564人	2,644																																																							
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの健全なスポーツ活動の普及のため、育成組織の指導・支援と適切な活動環境の整備に努めます。 小学生クラブ活動振興会で活動する子どもたちの割合を増やします。 <p>【市内児童 (5.6年生) の割合 (H26) 50%→(H32) 55%】</p>																																																													

主要施策 4	快適な活動の場の提供																																																																
現状	<p>本市では市民のスポーツ活動拠点として、体育館や運動公園など多くの社会体育施設を設置するとともに、学校施設を一般利用に開放しながら、適切な維持管理や改修により快適なスポーツ活動の場の提供に努めています。</p> <p>また、「みずほすこやかランド」や「国見総合運動公園（遊学の里くにみ）」など、体育施設に入浴休憩や宿泊施設を併せた複合施設を設置しており、スポーツ合宿などの利用にも対応可能となっています。</p>																																																																
課題・今後の方向性	<p>本市の社会体育施設は、多くの施設で老朽化が進み、ナイター照明等の電気設備や各種備品等の故障が多く発生するなど、その維持管理・修繕などに多くの経費が必要となっています。</p> <p>また、各種大会やイベント等での施設利用が毎年増加し、恒例事業として開催されていた地域イベントや競技大会等との調整も難しくなっています。</p> <p>このようなことから、定期的な施設の安全点検を行うとともに、危険性・緊急性などを考慮しながら、適切な補修を行う必要があります。</p> <p>また、施設の利用調整や予約制度の改良などとともに、みずほすこやかランドや国見総合運動公園（遊学の里くにみ）の複合施設等においては、施設運営に民間の技術や活力を導入する指定管理による運営管理を行うなど、効率的な施設運営の体制を構築する必要があります。</p>																																																																
今後の主な取組	<p>【社会体育施設（設備・備品）の適正な管理運営】 市内のスポーツ施設が快適に利用できるよう、適切な維持・管理を行います。また、施設の少ない地域では、学校施設の有効活用に努めます。</p> <p>【適切な利用のための予約制度の確立】 各種スポーツ活動が円滑に実施されるよう、施設の利用調整や予約制度の改良を進めます。</p> <p>【指定管理者制度による民間活力の導入】 施設をより快適に活用できるよう、また、より高度なサービスが提供できるよう、施設の運営に民間企業のノウハウ等を導入する指定管理者による施設運営を進めます。</p>	 <p>【国見総合運動公園】</p>																																																															
資料等	<p>【市内の社会体育施設の状況】（学校開放施設は含まない）</p> <table border="1" data-bbox="280 1608 1401 1843"> <thead> <tr> <th></th> <th>国見</th> <th>瑞穂</th> <th>吾妻</th> <th>愛野</th> <th>千々石</th> <th>小浜</th> <th>南串山</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>グラウンド（面）</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>テニスコート（面）</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>武道・弓道・相撲場</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他施設は、宿泊研修施設・プール・グラウンドゴルフ場・夜間照明施設などを計上</p>			国見	瑞穂	吾妻	愛野	千々石	小浜	南串山	計	体育館	1	1	1	0	1	1	0	5	グラウンド（面）	4	1	2	2	0	1	0	10	テニスコート（面）	10	5	4	2	0	0	0	21	武道・弓道・相撲場	1	1	1	1	1	1	0	6	その他	2	4	0	2	3	0	3	14	計	18	12	8	7	5	3	3	56
	国見	瑞穂	吾妻	愛野	千々石	小浜	南串山	計																																																									
体育館	1	1	1	0	1	1	0	5																																																									
グラウンド（面）	4	1	2	2	0	1	0	10																																																									
テニスコート（面）	10	5	4	2	0	0	0	21																																																									
武道・弓道・相撲場	1	1	1	1	1	1	0	6																																																									
その他	2	4	0	2	3	0	3	14																																																									
計	18	12	8	7	5	3	3	56																																																									
達成目標	<p>・スポーツ施設の適正な維持管理に努めるとともに、利用しやすい環境整備に努め、スポーツ施設の利用者数の増大を目指します。</p> <p>【年間利用者数（H28・総合計画目標）382,000人→(H32)385,000人】</p>																																																																